学校給食費の減免について、どのように検討され、現在の進捗状況は

市長 学校給食費の支援については引き続き検討を重ねている。

近藤一宇 議員

学校給食費について

議員 まだ検討中。任期はあと1年、市長の公約だった。県内他の市町の減免の把握は。

教育次長 3市3町で実施。2子目以降半額、3人目以降全額助成、あるいは、1人目は2割、2人目は4割、3人目以降は8割助成など。

議員 東彼杵町や波佐見町では一定期間コロナ対策として全額補助している。まさに子育て世帯への支援、検討の中身を知りたい。

市長 どういった形がいいか、具体的なところまではいっていない。

国民健康保険について

議員 国は、令和4年度から、入学前の子どもの均等割額を半額にすることを昨年暮れに決めた。公費で賄われるのはいくらか。

市民生活部長 対象児童619人。軽減制度を考慮しない状態で1，132万7，700円。

議員 1，132万7，700円出せばできる。令和3年度に前倒しでできないか。

福祉保健部長 国と県の負担分4分の3の財源問題でできない。

議員 子育て世帯の負担軽減に目を向けるのが大事ではないか。

広報紙の発行について

議員 「広報みなみしまばら」は、自治会配布が1万5千部。2，400部が、各支所や図書館（1，200部）、予備（550部）など。予備は、1年後50部残して処分。各支所にはいつもたくさんの広報紙が残っている。節約すべきである。私の計算では80万円近く節約できると思う。

総務部長 毎年残量を計算しながら発行部数は減らしている。今後においても調整していきたい。

たくさん残った広報紙

電子地域通貨MINAコインについて

議員 これで景気がよくなると思うか。

市長 市外に出ていくお金を市内で使う。市内の経済が回っていく。今の段階をよしと思っている。

議員 MINAコイン通貨というのは不公平感・不平等感がある。低所得者は2万円のチャージができない、スマホを持たない人、持とうとは思わない人はできない。施政は市民に平等に行われるべきである。

質問の様子を動画で見よう

真砂で個室を考えてはいかがか

市長 幅広く今後検討していきたい。

小嶋光明 議員

再生可能エネルギーについて

議員 南島原市で、潮流発電を計画したらいかがか、市長の考えを伺う。

また、市内の一般家庭の太陽光発電の中で、電力会社との契約期間が終わるものを、ミナサポで買い上げるような考えはないのか。

市長 潮流発電はもとより、再生可能エネルギーの利活用について検討を続けていきたい。

副市長 ミナサポでそういう可能性に向けて調査させているので、もうしばらく御猶予いただきたい。

議員 次に、太陽光のことで、もう買上げをしないというような電話がかかってきて市民の皆さんが不安がっておられる。ミナサポで、それを買い上げることで、市民の皆さんが安心できるようにPRできるのではないかと思うが。

副市長 市民の皆さんが不安を持たれないように取り組んでいければと思っている。今後検討させていただきたい。

真砂について

議員 コロナで、個室がいいという状況が出てきている。考えてはいかがか。検討価値はあるか、全然そういう気持ちがないのか。

市長 社会的動向、真砂に対する要望等の中で、個室という認識は、私自身も思ってはおり、幅広く今後検討していきたい。

議員 検討、検討じゃなく実行に移していただきたい。もう少し早急に検討してはどうか。

市長 早急にというか、検討していく。

真砂

各補助金について

議員 建設課・農林課に共通する補助金だが、9月から10月ぐらいでなくなり、来年度に回るようなことになっている。補正を組んでいでも、早急に、市民が要望されているものは対応したらどうか。

市長 要望があれば、補正を組んで、市民の皆さんのためにすべきであろうと考えている。

議員 要望があったときには、よく把握をして、聞き取りをしながら、今後対応していただければと思う。

質問の様子を動画で見よう